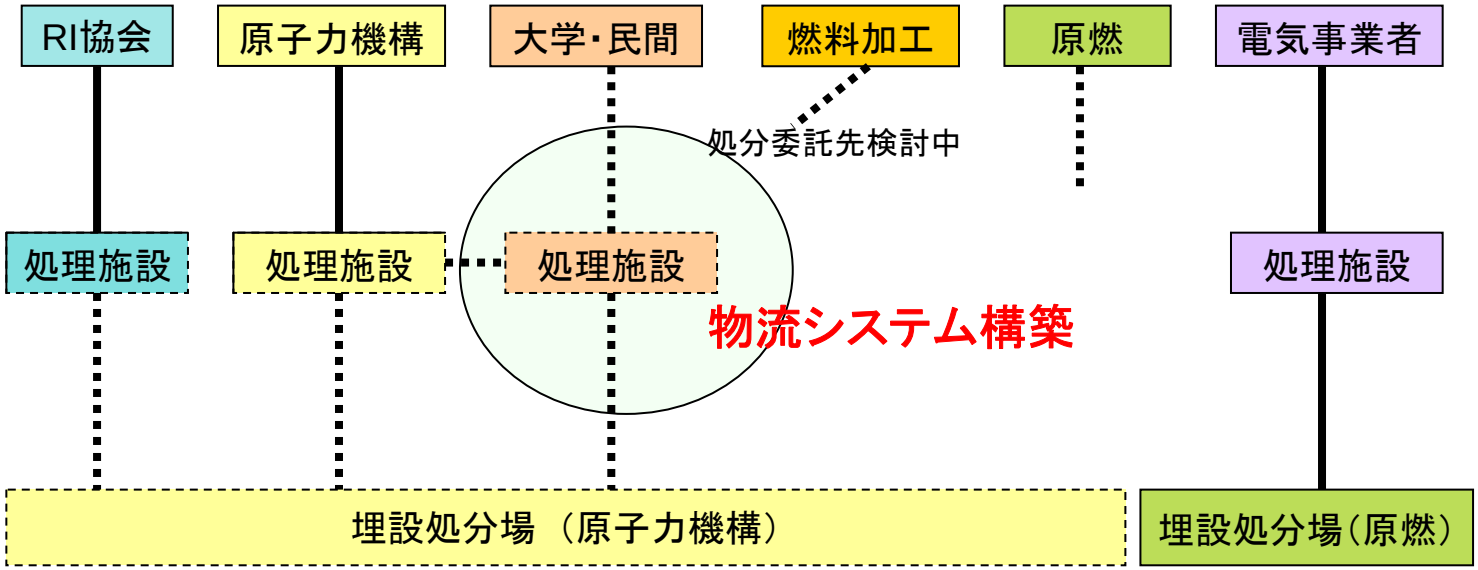
RANDEC

物流システム事業化への検討状況

平成22年5月13日

(財)原子力研究バックエンド推進センター
RANDEC

わが国の低レベル廃棄物の処理･処分の現状



保有本数と事業所数分布（200リットルドラム缶相当本数）

RANDEC調査（2008.11）

10以下	100以下	1000以下	2000以下	3000以下	4000以下	5000以下	5000以上
38	26	14	4	3	0	0	3

トレンチ処分対象：約43000本

ピット処分対象　：約2300本

埋設事業の計画概要(原子力機構)

RANDEC

概念設計等

初期建設
(約8年)

操業
(約50年)

最終覆土
(約3年)

閉鎖後管理
(約300年)

当面実施する事項(1～2年)

概念設計等の実施

立地基準及び
立地手順の策定

総費用の
精査等

輸送、処理に
関する計画

・処理方法の検討、調整等
・実施体制の検討、調整等

事業に関する
情報の発信
等

実施計画変更認可

立地基準及び立地手順の公表

個別地点を対象とした立地活動

了解を得た後、事業の実施に向けた手続き
◆環境調査,基本設計,事業許可申請,安全審査　等

収支計画
資金計画
の公表

処分単価
の公表

受託契約
の開始

輸送、処理に
関する計画

・処理、輸送の全体計画に係る検討、調整

事業に関する
情報の発信
等

注)「研究施設等廃棄物の埋設事業に関する説明会」(H22.1.27)配布資料より

RANDEC

物流システム事業化への概略工程（予定）

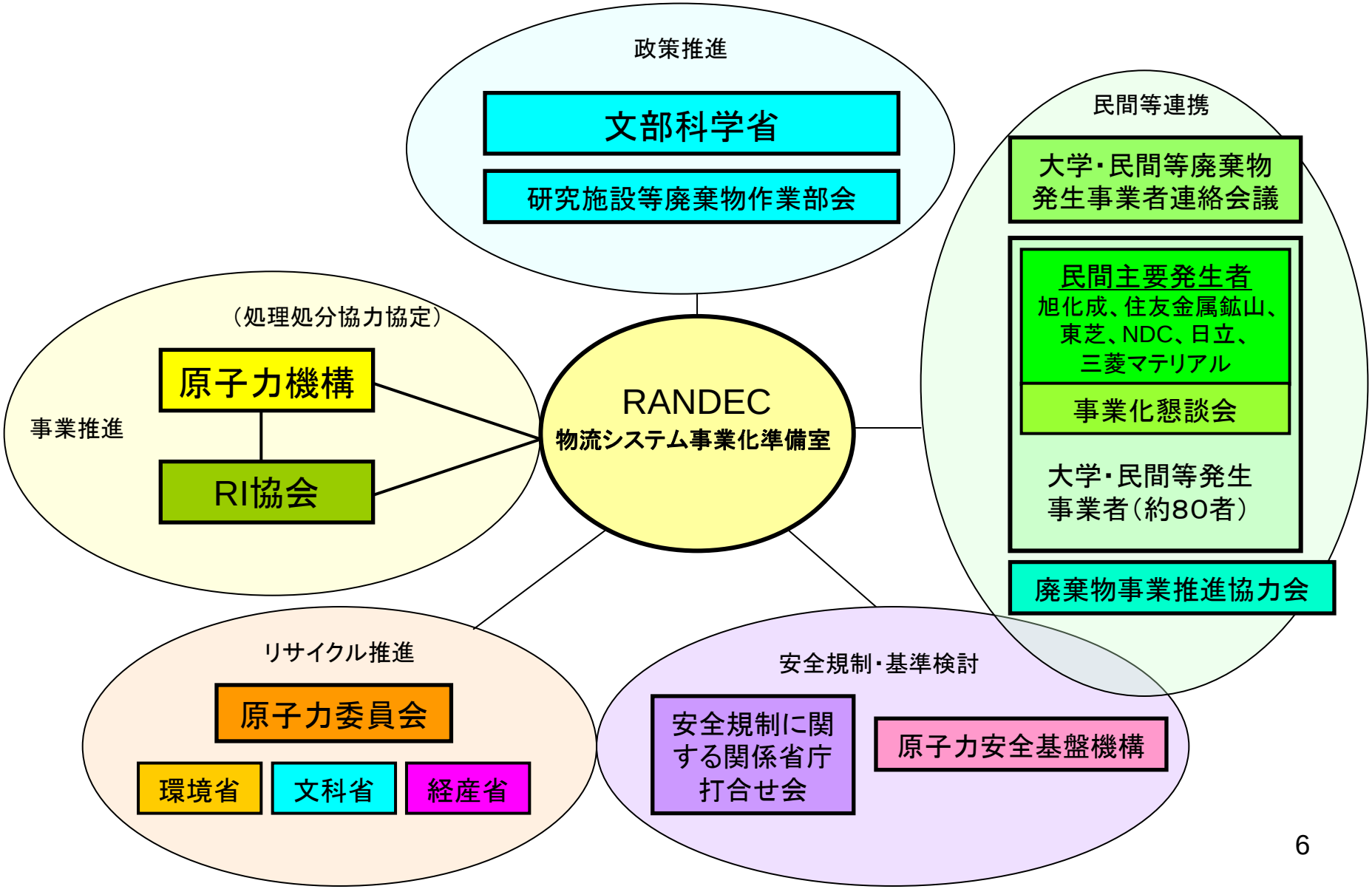
物流システム事業化調査研究の三ヶ年計画

＝調査研究は主要発生民間6社殿からの資金提供を基に、RANDECにて実施＝

	20年度	21年度	22年度
事業計画検討	ビジネスモデル検討	経済性評価	事業主体検討
技術・設備検討		廃棄物データベース構築	
		開梱分別＆処理方策検討	
		確認方法検討＆技術開発	
		品質管理データベース構築	
	処理設備の概念設計検討		事業申請予備検討
立地調査		立地調査検討	

調査検討の関連組織図

RANDEC



今後の進め方と課題

RANDEC

(1) 発生事業者との連携強化

- 保管廃棄物の情報共有 ・・・ データベース、廃棄体基準
- Solution 提供 ・・・ クリアランス対応、廃止措置対応 など

(2) 事業化準備から事業化へ

- 立地の進め方 / タイミング ・・・ 埋設処分事業との連携
- 集荷・保管・処理の具体的条件を提示する準備
- 事業開始資金の確保（立上げ時資金、設備建設資金）
- 事業要員の確保（5名⇒約30名）
- 事業認可申請の準備

（3）その他

- 廃棄物処理処分費引当金準備 ・・・ 租税特別措置の要望
- RANDEC協力会への加入お願い